

目次 ～被ばく低減対策好事例集一覧～

番号	場所	分類	具体的な内容	線量当量 (mSv)			備考
				対策前	対策後	低減量	
29-01-01	RB	3	2号機原子炉建屋 X-6前の遮へい	--	--	--	
29-01-02	RB	3	2号機原子炉建屋 X-6前の遮へい	--	--	--	1/1000に遮へい
29-02-01	RB	5	リモートモニタリングシステムの採用	1.0	0.87	--	相対値
29-02-02	RB	5	リモートモニタリングシステムの採用	1.0	0.87	--	相対値
29-02-03	RB	5	リモートモニタリングシステムの構成	--	--	119	
29-03	RB	6	PCV内挿入機器 引抜時の汚染防止対策	--	--	77	
29-04-01	TB	2	作業場所を低線量率エリアへ変更	7～22	0.5～4.0	--	
29-04-02	TB	5	作業場所を低線量率エリアへ変更	7～22	0.5～4.0	--	
29-05-01	TB	3	ヒータドレン配管他の遮へい	5.6	1.6	--	
29-05-02	TB	3	ヒータドレン配管他の遮へい	--	--	--	
29-06	TB	3	復水器上部立入りエリアの遮へい	--	--	--	
29-07	TB	3	復水器内貯留水移送ラインの遮へい	--	--	--	
29-08	TB	3	復水器廻り開口部の遮へい	2.4	1.4	--	
29-09-01	TB	3	組立式衝立遮へいの設置	2.8	0.11	--	
29-09-02	TB	3	組立式衝立遮へいの設置	2.8	0.11	--	
29-10-01	TB	5	堆積スラッジの除去	--	--	--	
29-10-02	TB	4	堆積スラッジの除去	--	--	--	
29-11	TB	4	復水器内高線量率貯留水の希釈	--	--	--	器内放射能量1/30
29-12	TB	7	アクセスルートの設定・表示	--	--	--	
29-13	R	2	低線量率エリアに昇降設備を設置	--	--	--	
29-14	R	2	移動動線・低線量待機場所の設定	1.0	0.46	--	相対値
29-15	R	3	3号機原子炉建屋周りの遮へい	1.0	0.30	(228)	相対値
29-16	R	3	3号機タービン建屋上部からの放射線を遮へい	--	--	--	
29-17	R	3	フランジタンク内β線遮へい	89.4	2.4	--	
29-18	R	3	遮へい台車の導入	1.0	0.46	--	相対値
29-19-01	R	4	防水塗装作業前にガレキ撤去を実施	--	--	--	
29-19-02	R	4	防水塗装作業前にガレキ撤去を実施	--	--	--	
29-20	R	5	タンク内面の汚染封じ込めに遠隔吹付機を使用	42.3/基	0/基	42.3/基	
29-21	R	6	フランジ型タンク解体時の汚染管理	--	--	--	
29-22	R	7	超流動コンクリート材の開発・使用による作業量削減	1.0	0.25	--	相対値
29-23	R	7	防水塗装作業の機械化	1.0	0.46	--	相対値

※上記好事例は、平成29年11月9日開催「被ばく低減対策ワークショップ」資料より抜粋し、編集した。